

令和4年度

天草市大宮地財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

天草市監査委員

天監第62号
令和5年8月4日

天草市大宮地財産区管理者
天草市長 馬場 昭治 様

天草市監査委員 富田 善三郎

天草市監査委員 福岡 耕二

天草市監査委員 下田 昇一郎

令和4年度天草市大宮地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和4年度天草市大宮地財産区特別会計歳入歳出決算及び同附属書類を審査しましたので、天草市監査基準第14条第4項の規定に基づき意見を提出します。

令和4年度天草市大宮地財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

令和4年度天草市大宮地財産区特別会計歳入歳出決算
 令和4年度天草市大宮地財産区特別会計実質収支に関する調書
 令和4年度天草市大宮地財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
 令和4年度天草市大宮地財産区財産に関する調書

2 審査の期間

令和5年7月7日から令和5年8月4日

3 審査の方法

審査にあたっては、天草市監査基準(令和2年天草市監査委員告示第1号)に準拠し、天草市大宮地財産区管理者(天草市長)から提出された、天草市大宮地財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行い、審査を実施した。

4 審査の結果

審査に付された天草市大宮地財産区特別会計歳入歳出決算、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書は、関係法令に適合し、かつ正確に作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

5 歳入歳出決算の概要

(1) 決算収支

(単位：円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
令和4年度	3,821,079	1,131,231	2,689,848	0	2,689,848
令和3年度	4,272,992	2,879,940	1,393,052	0	1,393,052
比 較	△ 451,913	△ 1,748,709	1,296,796	0	1,296,796

令和4年度の歳入歳出差引額は2,689,848円で、翌年度へ繰越すべき財源はなく、実質収支額は2,689,848円である。

(2) 歳入

(単位：円・%)

区 分	令 和 4 年 度						令和3年度	対 前 年 度	
	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収納率	収入未済額	収入済額	増減額	増減率
財 産 収 入	2,441,000	2,428,015	2,428,015	63.5	100.0	0	2,424,774	3,241	0.1
繰 越 金	1,383,000	1,393,052	1,393,052	36.5	100.0	0	1,848,208	△ 455,156	△ 24.6
諸 収 入	2,000	12	12	0.0	100.0	0	10	2	20.0
歳 入 合 計	3,826,000	3,821,079	3,821,079	100.0	100.0	0	4,272,992	△ 451,913	△ 10.6

※収納率は「収入済額÷調定額」の値

収入済額は3,821,079円で、調定額に対する収納率は100%となっている。

前年度と比べ財産収入の増は、財産運用収入の利子及び配当金が増加したことによるものである。

(3) 歳出

(単位：円・%)

款	区分	令和4年度				令和3年度	対前年度		
		予算現額	支出済額	構成比	執行率	不用額	支出済額	増減額	増減率
議会費		385,000	347,066	30.7	90.1	37,934	348,000	△ 934	△ 0.3
総務費		2,541,000	784,165	69.3	30.9	1,756,835	2,531,940	△ 1,747,775	△ 69.0
予備費		900,000	0	-	-	900,000	0	0	-
歳出合計		3,826,000	1,131,231	100.0	29.6	2,694,769	2,879,940	△ 1,748,709	△ 60.7

※執行率は「支出済額÷予算現額」の値

支出済額は1,131,231円で、予算現額に対する執行率は29.6%となっている。

前年度と比べ総務費の減は、一般管理費の財政調整基金積立金や財産管理費の負担金補助及び交付金(伝統文化継承活動補助金)が減少したことなどによるものである。

6 財産について

公有財産及び基金に関する決算年度中における増減高及び決算年度末残高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

①土地及び建物

区分	土地(地積) (㎡)			建物(木造・延面積) (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
畑	9,080.00	0.00	9,080.00	0.00	0.00	0.00
宅地	1,674.91	0.00	1,674.91	0.00	0.00	0.00
山林	2,325,252.50	0.00	2,325,252.50	0.00	0.00	0.00
雑種地	58,410.00	0.00	58,410.00	0.00	0.00	0.00
その他	518,552.00	0.00	518,552.00	0.00	0.00	0.00
合計	2,912,969.41	0.00	2,912,969.41	0.00	0.00	0.00

②山林

区分	面積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (㎥)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
所有	2,325,252.50	0.00	2,325,252.50	-	-	-

(2) 基金

(単位：円・%)

区分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	増減率
財政調整基金	8,673,645	308,000	8,981,645	3.6

決算年度末の基金現在高は8,981,645円で前年度末と比較して308,000円(3.6%)の増加である。これは、すべて基金への積立金である。